



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「世界の住みやすい都市ランキング」と「養殖クロマグロの出荷重量」です。



世界の住みやすい都市ランキング

検索

養殖クロマグロの出荷重量

検索



世界の住みやすい都市ランキング

世界的な情報誌MONOCLEが発表した「クオリティ・オブ・ライフー世界の住みやすい25の都市ランキング」2013年版によると、4位に東京、12位に福岡、13位に京都がランクインしています（日本を除くアジア地域からは、香港とシンガポールの2都市のみ）。

福岡はコンパクトな都市構造に加え、買い物の利便性や食文化、九州新幹線やアジア主要都市とのアクセスの良さが評価されました。

住みやすい都市ランキング2013年版

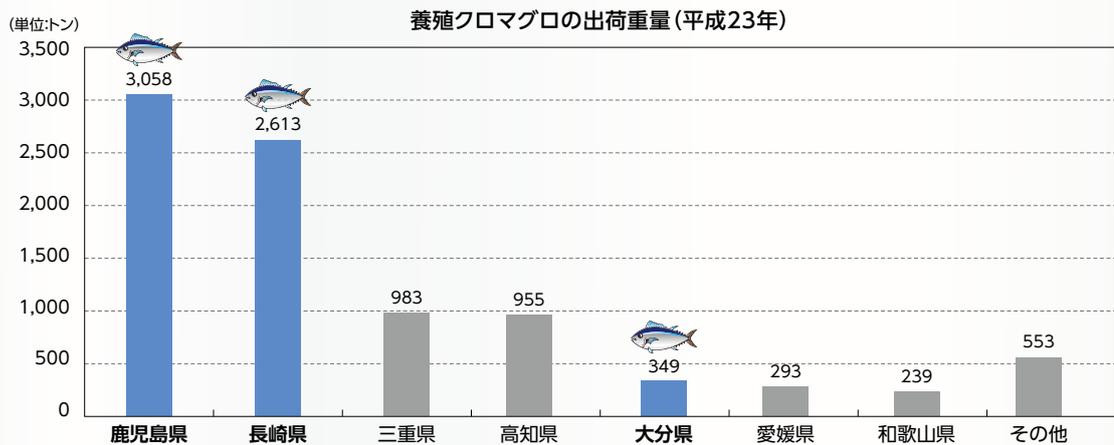
順位	都市名	国名（地域）
1位	コペンハーゲン	デンマーク
2位	メルボルン	オーストラリア
3位	ヘルシンキ	フィンランド
4位	東京	日本
5位	ウィーン	オーストリア
6位	チューリッヒ	スイス
7位	ストックホルム	スウェーデン
8位	ミュンヘン	ドイツ
9位	シドニー	オーストラリア
10位	オークランド	ニュージーランド
11位	香港	香港
12位	福岡	日本
13位	京都	日本
14位	パリ	フランス
15位	シンガポール	シンガポール

(出所:イギリス情報誌MONOCLE(2013年7・8月号)を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

養殖クロマグロの出荷重量

その希少性から「海のダイヤ」とも呼ばれるクロマグロ。九州は、養殖クロマグロの一大産地で、都道府県別の出荷重量を見ると、鹿児島県が1位、長崎県が2位、大分県が5位となっており、3県で全体の7割弱を占めています。

クロマグロの養殖には、高い海水温、豊富な酸素、安定したクロマグロの稚魚と生餌^{いきえ}の確保等、多くの条件がありますが、これらの要件を満たす九州の温暖で豊かな海では、大きく美味しいクロマグロが元気に育っています。



(出所:水産庁「平成23年における国内のクロマグロ養殖実績について」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、主要指標である生産が2ヵ月連続プラスで推移した他、個人消費も底堅く推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

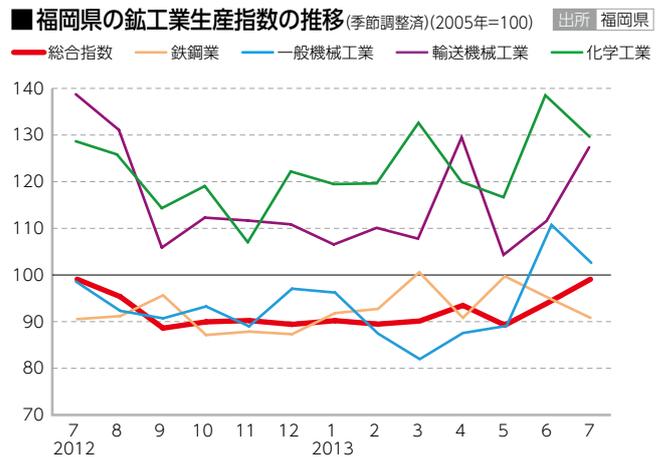
生産は、北米向け自動車が増産となった輸送機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。個人消費は、大型小売店販売額が前年並みを維持した他、自動車販売もエコカー補助金効果で販売が増加した前年並み水準を維持する等、底堅く推移しています。住宅建設は7ヵ月連続で前年を上回り堅調に推移しています。

(森山 裕司)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.6と前月比4.7%上昇しました。

主要業種では、液晶テレビ用のパネル製造装置が減産となった一般機械が低下した一方で、北米向け輸出が好調な自動車の生産が増加した輸送機械が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが続いています。



2.個人消費 | 底堅く推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%減の556億円となりました。

猛暑の影響で秋物衣料品が振るわなかったものの、スポーツ飲料等の熱中症対策商品が好調だった飲食料品は前年を上回っています。

8月の自動車販売は、前年同月比0.2%減の12,645台となっています(乗用車は同7.9%減、軽自動車は同13.7%増)。





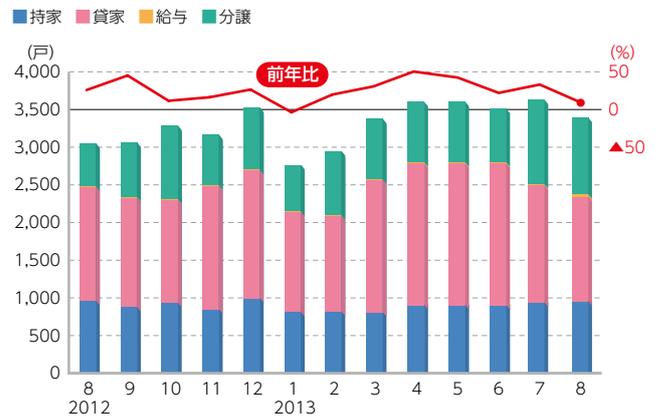
3.住宅建設 | 堅調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、3,283戸と前年同月比8.0%増加し、7ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」「貸家」は減少したものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により、「分譲」が前年を大きく上回る等、堅調に推移しています。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



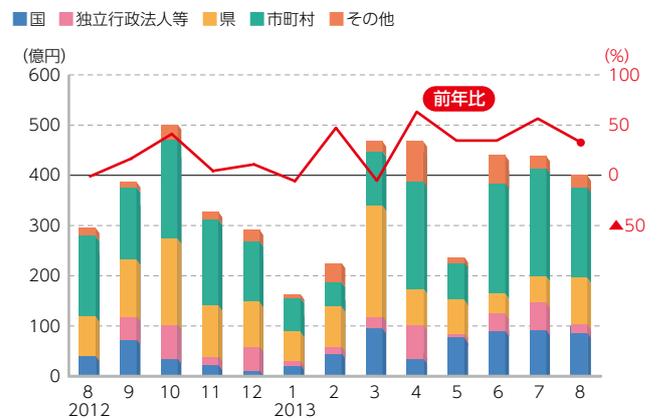
4.公共工事 | 好調に推移している

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比24.2%増の883件、金額が前年同月比34.0%増の396億円となりました。

発注者別では、防波堤地盤改良工事のあった「国」をはじめ、全ての項目で前年を上回る等、好調に推移しています。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%増の36件、負債総額は同30.5%減の約33億円となりました。

倒産件数は前年を上回りましたが、大型倒産が少なく、負債総額は前年を下回り、低水準に抑制されています。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が増加に転じる等、持ち直しの動きが続いています。

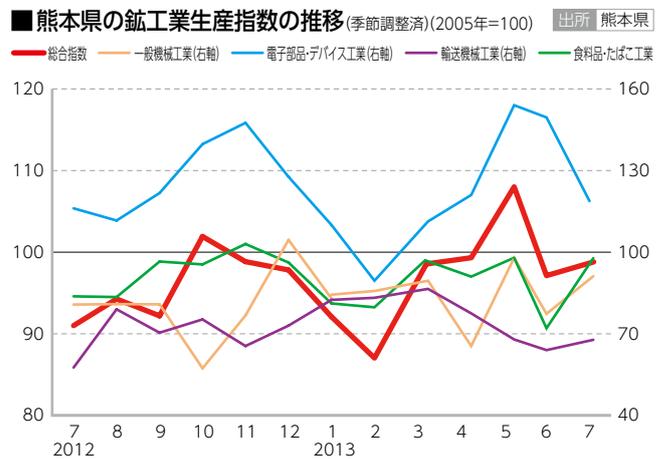
生産は、清涼飲料水やビール類が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(大仲 陽介)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.7と前月比1.6%上昇しました。

主要業種では、スマートフォンやデジタルカメラ向けの半導体集積回路等が減産となった電子部品・デバイスが低下しましたが、清涼飲料水やビール類が増産となった食料品・たばこ等が上昇し、生産活動は持ち直しの動きが続いています。



2.個人消費 | 弱含みで推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比3.4%減の127億円となりました。

猛暑の影響により、衣料品は、お盆前後から展開し始めた秋物が振るわなかった一方、飲食料品は、清涼飲料やアイスクリーム等が好調で前年を上回りました。全体では、8月下旬の台風や大雨により客足が鈍かった影響もあり、前年を下回りました。

8月の自動車販売は、前年同月比7.1%減の4,804台となっています(乗用車は同9.0%減、軽自動車は同5.0%減)。



3.住宅建設 | 好調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、1,261戸と前年同月比37.7%増加しました。

「持家」「貸家」が大幅に増加する等、消費税増税を意識した駆け込み着工により、好調に推移しています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



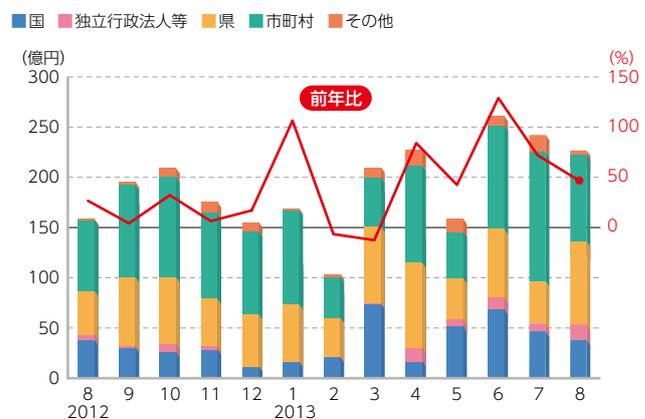
4.公共工事 | 好調に推移している

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比27.8%増の672件、金額が同42.0%増の225億円となりました。

発注者別では、砂防工事等の大型案件があった「県」や、下水道工事や学校改築等があった「市町村」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



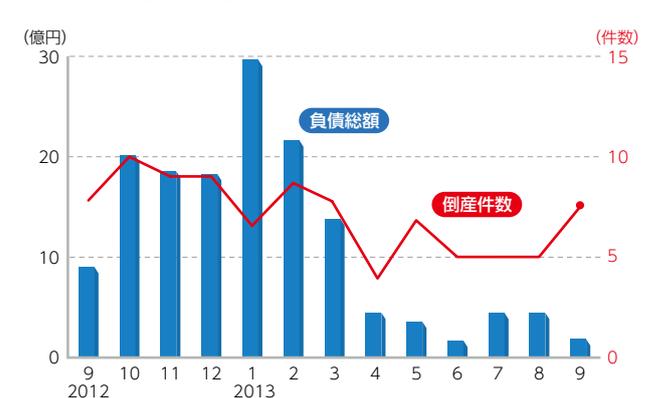
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比12.5%減の7件、負債総額が同82.1%減の約2億円となりました。

1億円を超える倒産はなく、負債総額、件数ともに低水準で推移しています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が増加に転じる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

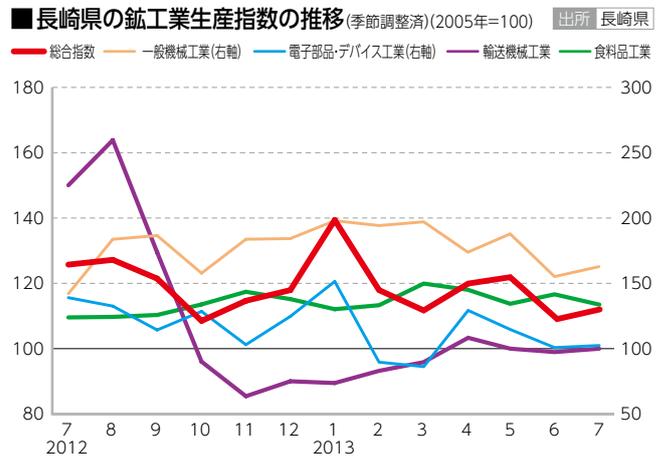
生産は、プラント向けボイラーが増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工により堅調に推移しています。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は111.2と前月比2.5%上昇しました。

主要業種では、プラント向けボイラーが増産となった一般機械が上昇した他、シリコンウェハの生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。



2.個人消費 | 弱含みで推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比1.0%減の98億円となりました。

猛暑の影響により、飲食料品は清涼飲料やビール等が好調で前年を上回ったものの、衣料品は秋物衣料が振るわず前年を下回っています。

8月の自動車販売は、前年同月比7.0%減の3,182台となっています(乗用車は同16.4%減、軽自動車は同1.4%増)。





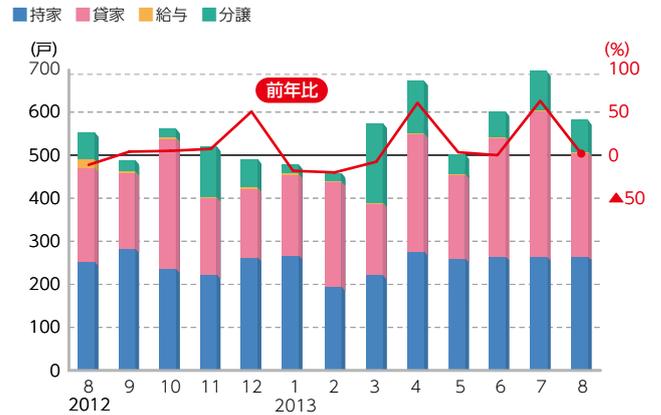
3.住宅建設 | 堅調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、580戸と前年同月比4.9%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「貸家」と「分譲」が前年同月を大きく上回りました。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工数増加に向けた動きが継続します。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 足元は、回復に向けた動きが一服

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.7%増のは527件、金額が同15.2%減の156億円となりました。足元は回復に向けた動きが一服しています。

発注者別では、学校関連工事等の大型案件があった「県」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



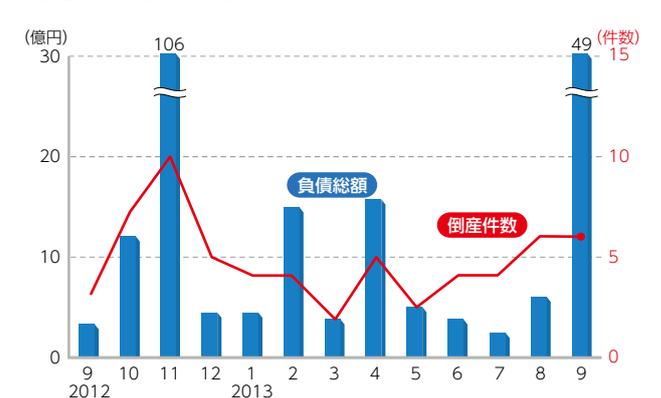
5.企業倒産 | 負債総額は大幅に増加

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の6件、負債総額が同約15倍の約49億円となりました。

20億円以上の大型倒産が2件発生し、負債総額、件数ともに前年を大幅に上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が増加に転じる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

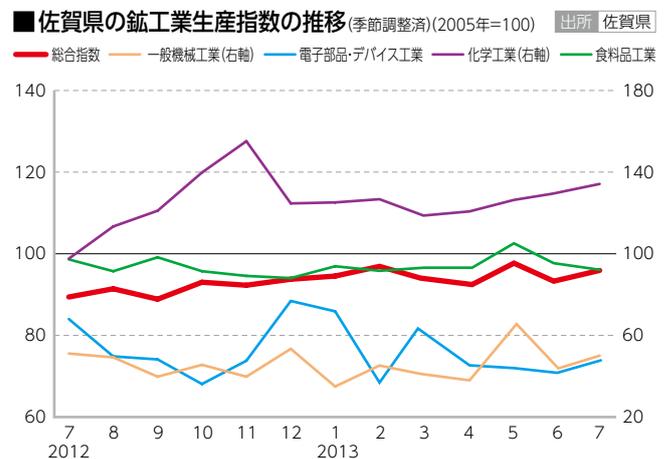
生産は、医薬品が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。個人消費は、自動車販売が前年を上回ったものの、大型小売店販売額が前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(下田 大氣)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.4と前月比2.5%上昇しました。

主要業種では、空気動工具等の生産が増加した一般機械が上昇した他、医薬品が増産となった化学が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。



2.個人消費 | 弱含みで推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比4.0%減の56億円となりました。

猛暑の影響で秋物衣料が振るわなかった衣料品が前年を下回った他、飲食料品も前年を下回っています。

8月の自動車販売は、前年同月比1.4%増の2,164台となっています(乗用車は同0.9%減、軽自動車は同3.4%増)。





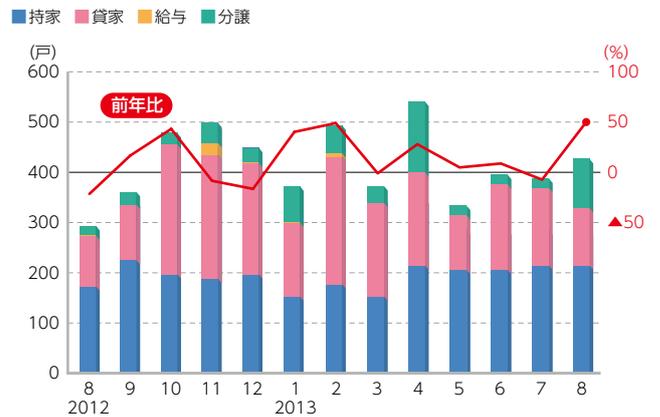
3.住宅建設 | 好調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、436戸と前年同月比48.8%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「分譲（マンション）」が前年を大幅に上回った他、「持家」も高水準で推移しています。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工数増加に向けた動きが継続しています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 好調に推移している

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.7%増の308件、金額が同20.3%増の104億円となりました。

発注者別では、緊急経済対策事業として防災関連工事があった「県」や学校改築等があった「市町村」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



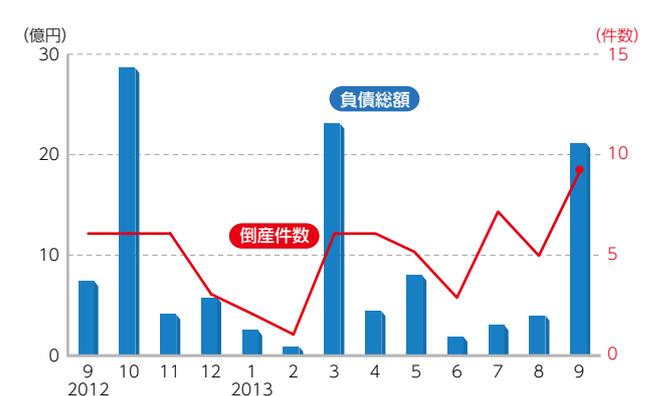
5.企業倒産 | 負債総額は大幅に増加

9月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0%増の9件、負債総額が同約3倍の約21億円となりました。

鮮魚卸売業で約13億円の倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が2桁増となる等、持ち直しの動きが見られます。

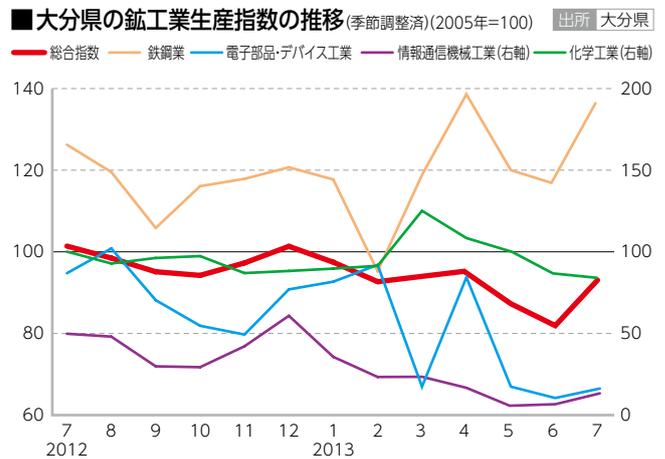
生産は、建材向けの鋼帯が増産となる等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、自動車販売が前年を上回ったものの、大型小売店販売額が前年を大きく下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.8と前月比12.4%増加しました。

主要業種では、主に建材向けの鋼帯の生産が増加した鉄鋼が上昇した他、デジタルカメラが増産となった情報通信機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。



2.個人消費 | 弱含みで推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比2.8%減の98億円となりました。

主力の飲食料品は、猛暑の影響で清涼飲料等が好調で前年同月並み水準を維持しました。一方、衣料品は猛暑がお盆以降まで長引いたことから、秋物衣料の出足が鈍くなり、前年を大きく下回りました。

8月の自動車販売は、前年同月比2.7%増の3,403台となっています(乗用車は同4.9%減、軽自動車は同11.4%増)。





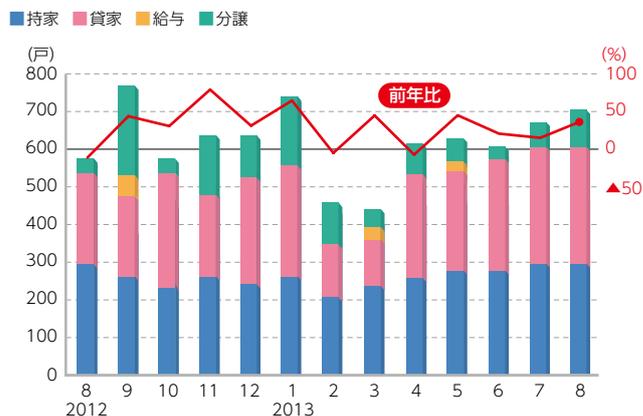
3.住宅建設 | 好調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比22.6%増の699戸となりました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 好調に推移している

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比2.5%増の375件、金額が同13.4%増の122億円となりました。

発注者別では、国立大学関連工事の発注があった「独立行政法人等」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額が同98.3%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

宮崎県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が増加に転じる等、持ち直しの動きが見られます。

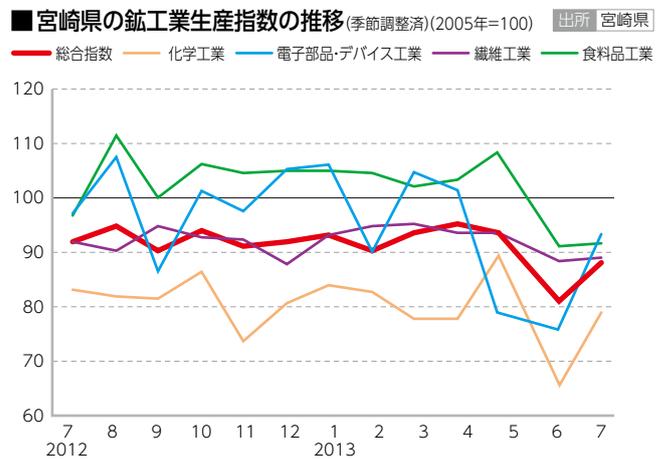
生産は、電子部品・デバイス関連の一部で増産の動きが見られる等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.6と前月比8.8%上昇しました。

主要業種では、食料品が概ね横ばい圏内で推移している中、電子部品・デバイス関連の一部で増産の動きが見られる他、化学が工場のメンテナンスで減産となった前月からの反動で上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。



2.個人消費 | 弱含みで推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比5.1%減の71億円となりました。

猛暑がお盆以降まで長引いたことから、秋物衣料の出足が鈍くなり、衣料品が前年を大きく下回った他、主力の飲食料品も前年を下回っています。

8月の自動車販売は、前年比3.6%減の3,149台となっています(乗用車は同12.4%減、軽自動車は同5.8%増)。





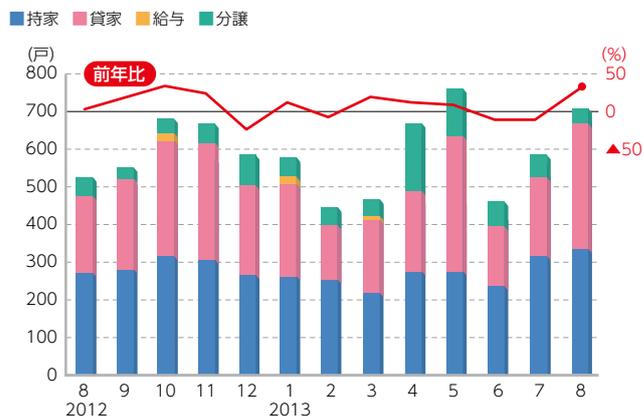
3.住宅建設 | 好調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、705戸と前年同月比33.3%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



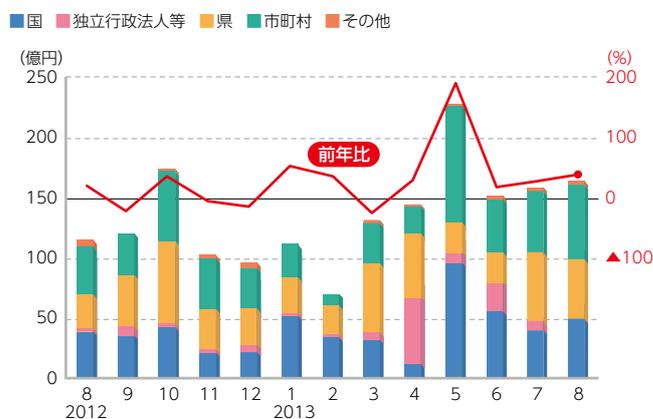
4.公共工事 | 好調に推移している

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比40.3%増の470件、金額が同48.6%増の168億円となりました。

発注者別では、国道トンネル新設工事の発注があった「国」が前年を上回った他、一般廃棄物向け最終処分場建設の大型案件があった「市町村」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額が同71.4%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、主要指標である生産がプラスに転じた他、個人消費も底堅く推移する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、半導体製造装置が増産となった一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。個人消費は、自動車販売がエコカー補助金効果で販売が増加した前年を下回ったものの、大型小売店販売額が前年並みを維持する等、底堅く推移しています。住宅建設は消費税を意識した駆け込み着工により堅調に推移しています。

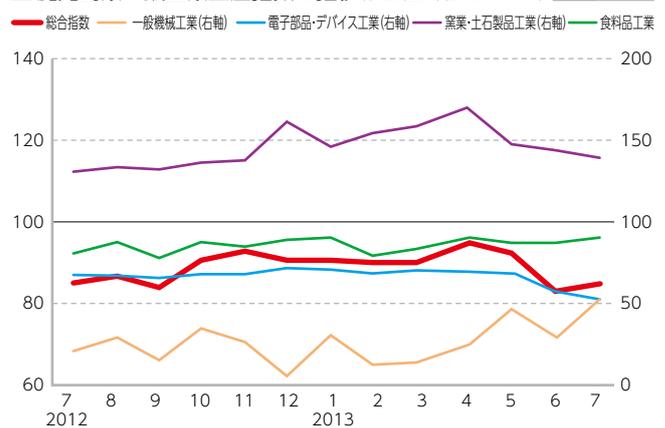
(森山 裕司)

1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

7月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は84.9と前月比1.6%上昇しました。

主要業種では、スマートフォン向けコンデンサー(蓄電器)やイメージセンサーが減産となった電子部品・デバイスが低下したものの、半導体製造装置等が増産となった一般機械が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■ 鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 鹿児島県



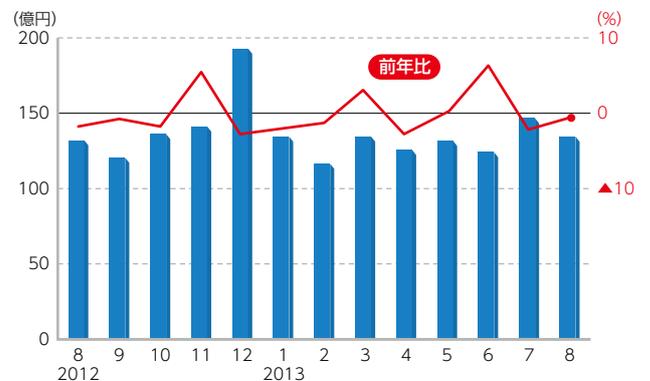
2.個人消費 | 底堅く推移している

8月の大型小売店販売額は、前年同月比0.7%減の131億円となりました。

猛暑の影響で秋物衣料が振るわなかった衣料品、飲食料品ともに前年を下回りました。

8月の自動車販売は、前年比2.0%減の4,146台となっています(乗用車は同6.7%減、軽自動車は同3.2%増)。

■ 鹿児島県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





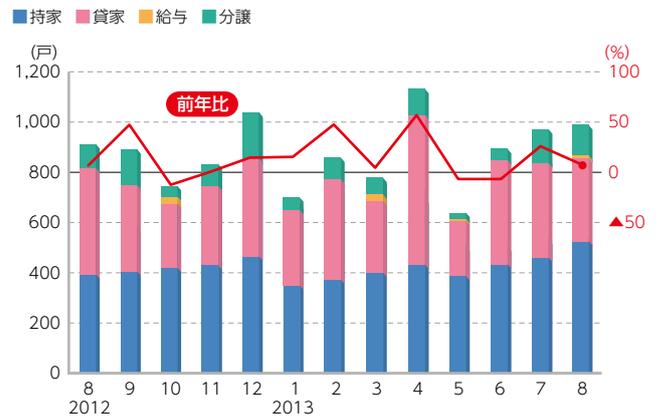
3.住宅建設 | 堅調に推移している

8月の新設住宅着工戸数は、993戸と前年同月比8.1%増加しました。

「貸家」が前年を下回ったものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「分譲」が前年を大幅に上回る等、堅調に推移しています。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



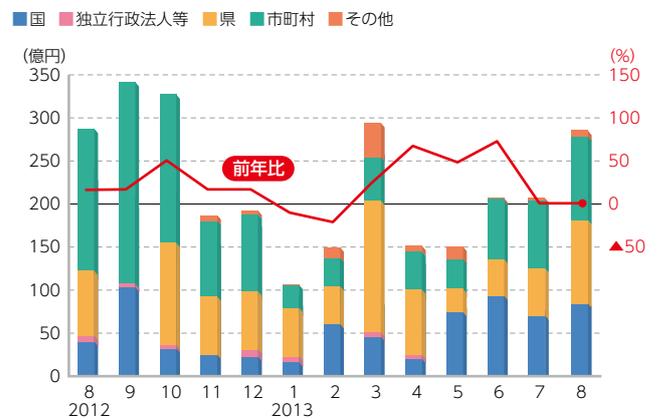
4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

8月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.4%増の832件、金額が同0.5%増の285億円となりました。

発注者別では、トンネル建設工事等の大型工事があった「国」や「県」が前年を上回り6ヵ月連続で前年を上回っていますが、足元は回復に向けた動きが一服しています。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

9月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比57.1%減の3件、負債総額が同59.4%減の約11億円となりました。

機械・器具設置業で大型倒産がありましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

